



国労せんだい

No. 2738
2017年7月5日
発行責任者 大沼 元
編集責任者 武田 昌仙

厳しい労働環境の改善を

エルダー職場 課題は交渉窓口

地方本部は5月21日、仙台市内において、「エルダー・嘱託社員交流会」を開催した。
JR東日本およびJR貨物では、60歳定年退職を迎えると、一部社員を除き、「原則出向」となるが、労働条件は低下し、さらに賃金は激減する。また駅の業務委託化などによる若年出向も激増している。
地方本部はこうした課題の問題点を集約し、改善に向けた取組みにつなげる方針だ。

集会は原子書記長の司会で開かれ、主催者を代表し大沼委員長は、地方本部が抱える課題と取組等について述べた。
続いて東日本本部渡辺法対部長が、JRが抱える様々な課題と問題点を指摘した後、エルダー制度については、「会社は社員の活躍の場であり、良い制度と言っているが、労働実態は劣悪で課題が山積。一方で会社も問題意識はあり、本部本社間、G会社と本部との交渉の模索と強化をしていく。エリア本部では、首都圏ではJESSとの交渉を強化しているが、他G会社との窓口を開きテーブルに着かせる取組みも強化していく」と今後の決意を述べた。
次に千葉組織部長が、地方本部管内における組織等

託化するとしている。
労働者は同じ職場で同じ業務、ただ賃金だけが大幅な格差。バカらしくなるのでは。離職率が高く、既に15人程退職。だがJR会社に離職率の認識を問うと、他の会社の話という感覚。
直接交渉できる環境作りは、厳しいエルダー・出向先職場環境の報告と、その改善の取組みの強化を促す意見が多く出された。

宮城県支部
山田書記長
▼TSSに出向、常磐線山下駅に勤務。エルダーは10月1日から。TSSは、基本給14万円程度。昇給は5年一回。社員等の形態は様々だが、全く同じ業務。手当や制度に格差があり不満が渦巻いている。
▼駅の業務委託は今後も進めると会社は明言。仙台駅みどりの窓口もいずれは委託化するとしている。

▼労働者は同じ職場で同じ業務、ただ賃金だけが大幅な格差。バカらしくなるのでは。離職率が高く、既に15人程退職。だがJR会社に離職率の認識を問うと、他の会社の話という感覚。
直接交渉できる環境作りは、厳しいエルダー・出向先職場環境の報告と、その改善の取組みの強化を促す意見が多く出された。

5・29 第1回選挙管理委員会
6・1 バス東北経協・夏季手当交渉
6・4 組織対策経験交流会(大阪)
6・7 第2回選挙管理委員会
6・8 バス東北夏季手当交渉
6・10 仙台地本組織対策会議

6・13 第10回地本執行委員会・東日本本社交渉
6・17 安プロ業長会議・アスベスト対策会議
6・21 乗務員勤務プロジェクト会議
6・26 只見線交流会
6・28 第11回執行委員会・支部代表者会議
6・30 全国代表者会議

▼仙台分連協
伊藤事務局長
▼仙台建築。2月段階で5月退職の方に提示がなく、分会として現場長に確認し本人からも要請。その後その方と来年2月退職する方に提示あり。しかし来年2月の方は郡山BTを希望し、空きがあるにも関わらず希望叶わず。その後奥様が体調を崩し介護休職に。
▼仙台分連協での議論を経て、再雇用についての署名の提案をした。今後取組みたいので協力を。
▼労働契約法20条について学習会等の提起を要請する。
▼質問。エルダー先での国の交渉は可能か。

▼今年、月からテクノロジー。新幹線解体業務では、大きなハンマーを振り込むが、筋肉痛が取れない。台車は重量物を扱うので整骨院に通いながら仕事している。65歳まで働き続けられるのか、不安を抱えながらの仕事。
▼集会等が集まらないという指摘。意識の問題より仕事きつくてゆっくり休みたいというのが本音と思う。

▼2月に嘱託社員。基本給14万、調整給4万で約18万円が基本給。55歳で3割カット、60歳で半分。
これまでも同じ職場で同じ仕事、責任も取られ賃金だけが下がる。
東北ロジに嘱託社員として組合員が4人、休日が少

▼エルダー2か月。毎年多くのエルダー社員が来る。親の介護や自分の体調、年金満額支給で退職するのはやむを得ない。問題は60過ぎて新しい仕事を覚えるのは体力的に大変であり、働きたいが、働き続けられないこと。それで辞めている人が多く改善しないと。自分たちは、職制より組合の先輩たちから人間として育てられてきた。だがテクノロジーは労組がなく、ミス・失敗した人を責め苛めて自分の班から排除しようとする文化。労組立上げとまで行かずとも、働くものを育てる文化を作りたい。

▼Jテック郡山に勤務。若松から6時36分の列車、帰りは17時42分。日勤で毎日65歳まで働くのが正しいのか...
▼「後進に道を譲れば...」という話もされる。
▼60歳を過ぎてからはほとんど体調が悪くなる。「65歳まで働く」というのも労働組合の要求・方針としてあるが、最近間違いではな

▼テクノロジー
仕事を覚えるのが大変
▼環境保全センターでごみ分別業務。現在は嘱託。エルダーが9人いるが、残念ながら参加者がゼロ。
一人だと頑張るが、仲間が多くなると「誰かがやるだろう」という安心からか

無関心になってきている。
 ▼無理せず、出来る範囲で頑張りたい。この集会には、「エルダーになったら一度は参加を」という強いメッセージを地本に要請する。

仙総所支部 渡辺執行委員

エルダー分会作り活動

▼支部のエルダー担当。支部では昨年3回に分けて意見交換会を行った。春闘要求のすり合わせや精査もすること。

▼年1回、支部としてもエルダー社員交流会を実施。また台車分会ではエルダー分会を作り、自覚をもって活動している。

▼エルダー先、まだ4人が未提示。会社が作った制度であり、会社を守らせる取組を地本からも強く要請すること。

▼アスベスト。健康管理手帳取得に向けて取組みを強化する。

郡山総合鉄道部

要員不足で退職出来ず

▼郡山ターミナル駅でフロント業務。外回りはコンテナの積み付け検査、中ではコンテナの座席取り（発送準備）。

▼今年2月地元に戻ったが、過去9年間郡山から仙台上に通勤。新幹線の通勤費で標準報酬額が高く、年金掛け金と健康保険が高額に。このまま仙台であったら退職

を考えていた。

▼貨物嘱託制度は年金満額支給までが基本。現在2人が嘱託社員で、今回は4人、次も2人と高齢化。

▼郡山の輸送助役の一人は65歳で退職の扱いになるはずが、本社特認で輸送助役を継続して拝命。臨雇ではなく嘱託扱い。もう一人同じ扱いの方がいる。貨物全体で何人か、調査が必要。

▼貨物の嘱託社員は本体に残留組と別会社出向組2通り。ロジに行けば本体より13日も休日が少なく厳しい。

▼信号扱い業務は外注化できないはずであるが、貨物石巻港駅は以前から外注化されており問題でないか。

▼今日は青年ネットワーク会議と重なりそちらに出席の組合員も。調整が必要。

東北ロジステイクス

月給制にしなければ

▼今年10月で65歳。ロジの前身は東北フレイトサービスで、当時原則55歳出向制度があり、その受け皿会社。その後ハローワークに社員募集してから人が集まり始め、今は貨物会社からは数えるほど。

▼60歳以上の人がメインであり、目いっぱい働くことはないと言いが、自衛隊出身が4人。時間前から働くような方々によって、働き方のスタイルが変わった。

▼3年前から最近高卒も雇用。自分の職場では今年高卒2人、本社役員の息子が

2人。どちらも30歳超で大卒。どういう経緯で入ってくるのか。ロジの労働条件は厳しい。自分は基本給14万、手当トータル約18万。

▼若い人は13万程度。年齢保障があっても微々たるもの。この先若い人たちは退職まで働いていけるのか話をしたい。

▼春闘、東北協議会がロジと交渉。現在正社員でない方は日給月給で一日6千円。7千5百円に上げる交渉をしたが、日給月給だと休日を増やせという要求にならない。月給制にして休日増を要求すべき。

▼ロジは70歳まで働いてもらいたいたいようだ。人手不足で要員確保したいから。

▼エリアに質問。例えば首都圏では業務委託が4割、今後増加していくというが、では組合としてどういう闘いを作るといふビジョンがあるのかどうか。

▼分会運動、分連協の運動について。「今交渉しているから（これから交渉するから）待ってくれ」というスタンスがあった。分会運動・分連協運動をつむことにならないか。

JRテクノロジ

隠蔽体質の改善を

▼2回目の参加。車体分会だが台車の業務。Jテック一年、その後統合でTMに2年勤務。普段から仲間同士の話はあるのでこうした

会にも参加できている。また後輩たちが毎年入ってくるので嬉しい。▼数日前、入換線のレールにエアースプレー缶が落ちていたという事で、犯人探しで何回も聞きに来た。こうした事象には会社は一生懸命。しかし自分たちはどうなのか。▼昨年助役が詐欺行為で懲戒免職処分されたが、新聞で初めて知った。会社としては一切公表していない。▼3月、Jテックの女性清掃員が更衣室清掃中、助役がその部屋のカギをかけたとの噂あり。▼昨年の基地まつり。一般開放中、3階の階段の隙間から子供が転落して打撲と骨折。不幸中の幸いだが、一歩間違えれば、これも救急車が来てわかった。何の話もなく、終わってから打ち上げもしている。自分たちのことは隠蔽し、作業者のミスは徹底追及する。▼コンプライアンス違反。▼エルダー先はないというが幹総にはあると思う。会社が探さないだけ。

東北総合サービス

低賃金で辞めていく

▼昨年5月エルダー。仙台南口と言われ、当時泊まり勤務月11回。大変な時は大変と言った。その後昨年12月20日に陸前山下駅に異動。女性では初めての一人勤務。

▼（振り返れば）震災時は

4時間半かけて通勤（接続悪い）。意地でも辞めないと頑張り続けた。おかしなことは遠慮せずに言ってきた。でも帰されるとは思わなかった。更に遡って直営店出向時は、7人位に囲まれて「辞めろ」コールもされたことも。そうした悔しさをバネに通勤と運動を続けられた。

▼女性部活動。せっかくOさんが加入してくれた。申し訳なくてやめられない。▼みどりの窓口、仙台駅南口、仕事はきつく大変、昨年入った子達はもう全員辞めてしまった。手取り10万で家賃6万とか。会社にものを言えず、仲間の悪口の言い合いに。以前の職場の子たちから「戻ってきて」の声。しかし「自分たちがものを言わないと変わらないよ」と言い続けている。

仙建工業

労基署も要注意の会社

▼昨年2月仙建工業に。仙建5月1日現在で総数906人、正・準社員575人、JRからの出向者172人、非正規（契約・嘱託・派遣等）159人。全体の36%強が仙建社員でないもので構成されている。東北の建設業で最大規模と言われている。

しかし、昨年6月から11月までの期間で、宮城・岩手・青森・福島各県で10回の臨検があった。（臨検は労基署の監督官による事

その内訳は、是正勧告2件（36協定違反）、労働時間の超過（月120時間以上の残業）、過重労働による健康被害が8件である。それらに対する指導の内容は「一か月の超過を45時間以内にする」とであった。東北大震災の復旧工事の対応で、長時間労働が原因の自殺者が岩手県で出ており、一昨年11月には白河でBRに挟まれた労災死亡事故もある。労基署も「注意すべき会社」としているようだ。▼自分は土木分野だが、労働時間の管理が全くなっていない。土曜日でも責任出

退職のお知らせ

5月31日付

佐藤 真司さん
山形連合（退職）

橋本 秀夫さん
仙台駅連（退職）

荒川 義克さん
仙台建築区（BT仙台）

七海 弘昌さん
郡山駅連（TSS矢吹駅）

難波 和夫さん
福島地区（日本リーティック）

遊佐 清敏さん
小牛田駅連（TSS鹿島台駅）

後藤 義弘さん
東工所（退職）

藤田 香さん
小牛田運輸区（テクノ小牛田）

家子 栄悦さん
小牛田運輸区（テクノ小牛田）

菅原 一夫さん
小牛田保線区（仙建小牛田）

佐々木 正彦さん
仙台保線区（退職）

○エルダー退職

増子 喜四郎さん
仙総車体（テクノ新幹線）

弦巻 満さん
郡山設備（仙建郡山出張所）

長い間お疲れ様でした

仲間の異動

6月1日付（出向）

○落合 実さん
北仙台駅

← TSS北仙台駅

○平間 清さん
北仙台駅↓名取駅

（一般異動）

番者以外4〜5人出てきて、

カウントしていない様子。

仙建の労働組合はJR東労組に入っているが、労働組合の話は全くない。何かしらの取組みを模索していかなければ。